

世界オリンピックス協会は、東京 2020 大会で実施する創造的なプロジェクトをリードするオリンピックを募集しています。もしあなたの提案が採用された場合は、東京でプロジェクトの実施をサポートしていただきます。

あなたの提案が採用されましたら、世界オリンピックス協会および国際オリンピック委員会と協働してプロジェクトを開発します。そして、東京 2020 大会で、プロジェクト実施のサポートをしていただきます。プロジェクト実施コストや東京への旅費などの費用は負担されます。

芸術であれば、分野は問いません。絵、写真、デジタル、音楽、ダンス、彫刻など。プロジェクトは以下の条件全てを満たす必要があります：

1. オリンピックバリュー（オリンピックの価値）に命を吹き込む創造的な経験を観衆が体験・共有できること
2. 東京オリンピックの前向きで記憶に残る経験を提供すること
3. 多文化・異文化間の協力、つながり、共同性を促進すること
4. ソーシャルメディアを通じたエンゲージメントを創造できること

東京の 2 つの異なる場所での実施に対する提案を募集します

A) 東京都内

観衆：一般

場所：東京都心

スペース：歩道、地下鉄もしくは他の場所に面した仮設（「ポップアップ」）もしくは常設施設。イメージしていただくために 4 ページの写真をご覧ください。

B) 選手村

観衆：オリンピックおよびアントラージュ

場所：選手村

スペース：選手村内で移動可能な仮設（「ポップアップ」）プロジェクト

プロジェクト期間

採用されたオリンピックは東京に招待されます。7月15日から8月23日までの間、東京でプロジェクトを実施していただく必要があります。

プロジェクト提案の提出方法

2019年11月30日(土)24時(ローザンヌ時間)までに、オンラインで<https://olympians.org/olympians/oly-art/>から提出してください。

タイムライン(変更の可能性あり)

月日	事項
2019年10月から11月	提案募集
2019年11月30日	提案提出締め切り
2019年12月	提案の検証、実現可能性調査、採用オリンピックの通知
2020年1月から3月	プロジェクト開発、最終的な予算計画、制作準備・試作
2020年4月から5月	資材の運送など
2020年6月から8月	実施

インスピレーション

以下のページをご覧ください：

- 2018年平昌オリンピックのオリンピックアートの実例
- オリンピックアゴラ(日本橋)のイメージ
- 一般的な東京のイメージ画像

ご提案をお待ちしております。質問がございましたら、info@thewoa.orgまでご連絡ください。

OLY Art ケーススタディ：平昌 2018

4名のオリンピック選手が芸術を通じてオリンピックの価値を表現し、ハッシュタグ **#OlympicArt** を通じて幅広い観衆を得ました。

平昌では、彼らの創造的な精神、経験を、2つのプロジェクトを通じて、いくつかの芸術的な表現で共有しました。

1) 「オリンピック選手による、オリンピックのための」オリンピックの価値を絵画で表現

カンヌンの選手村で、Roald Broadstock OLY、Lanny Barnes OLY、Jean-Blaise Evequoz OLY および数百名のオリンピック選手がペンキや絵の具を使い、15枚の事前に描かれた絵を、毎日1枚ずつ、色付けました。

絵はそれぞれ15のオリンピック冬季競技を表現しました。それらの絵をつなげたとき、15枚の絵は1枚の大きな絵になり、オリンピックの価値が明らかになりました。



2) オリンピックドリーム短編映画プロジェクト

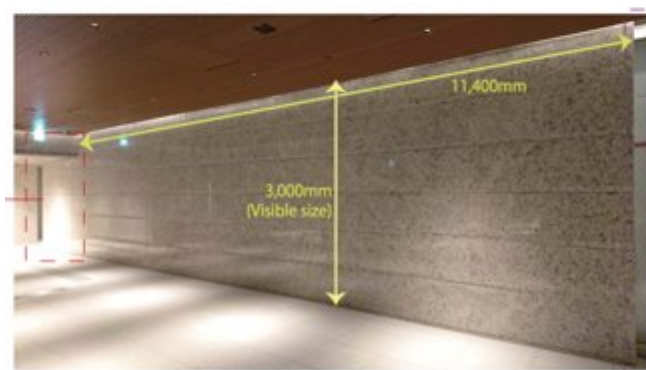
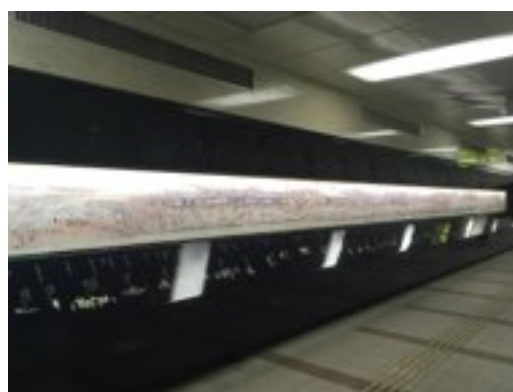
Alexi Pappas OLY および映画作家 Jeremy Teicher がフィクションと現実を混ぜながら短編映画シリーズを撮影しました。

その短編映画はフィクションでオリンピックドリームに人生をかけた冬季オリンピックに出場したある女性アスリートについてでした。3分の短編映画は、それぞれ、オリンピックの価値を述べることに徹した Alexi が書き演じた詩的なナレーションで表現されました。他のオリンピック選手たちも現地で演技のシーンに参加しました。

<https://www.nytimes.com/2018/02/05/style/olympics-artists-in-residence-program.html>



インスピレーションのためのイメージ写真 東京都内イメージ



インスピレーションのためのイメージ写真 東京 2020

